

# 2023年事業年度 事業計画(案)

# 基本方針

- ① 大学教職員・学生及び会員間同士の交流を推進する
- ② 会員の企業経営や事業開発等にプラスとなる企画を展開する
- ③ 大学との連携の中から、学生と地元企業との相互理解を促進し、優秀な人材を確保する

# 1. 大学の教育及び研究活動に対する支援事業

## ①地学連携懇話会への参加

後援会企業が本学の取り組みについて積極的に意見や評価を行う場を設ける

大学の教育や研究、人材育成、地域貢献等の更なる向上を図り、「地元で役立つ大学づくり」に向けた提言を行う。なお、想定されるテーマは右記のとおりである

①教育研究活動やカリキュラムの内容

②地元産業界で求められる人材や能力

③地域課題の解決に向けた教育研究活動

④採用活動における成績評価等の活用方法

⑤自治体・地元産業界とのリスクマネジメント

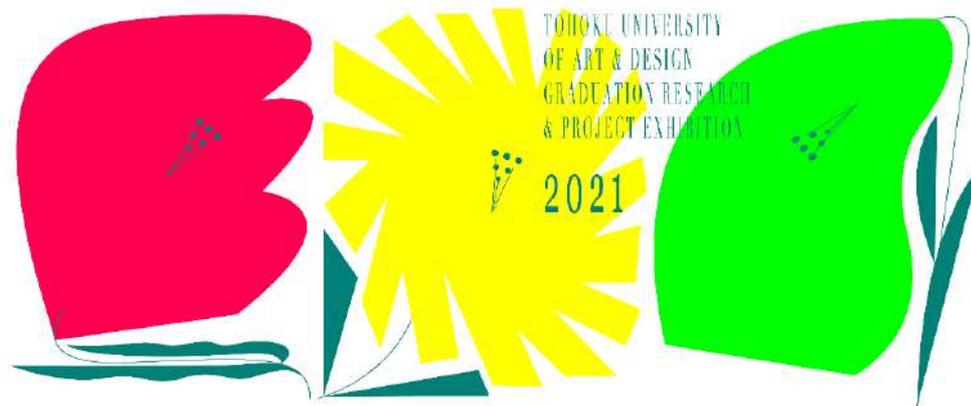
# 1. 大学の教育及び研究活動に対する支援事業

## ②卒業/修了研究・制作展への支援

会員企業には内覧会の案内も行っている「卒業/修了研究・制作展」開催にあたっては「ガイドブック（後援会ロゴ入り）」を来場者へ提供するなど、他の外部団体同様、運営面での支援を行う

### ◎他の外部支援団体

- ・保護者会（在学生の保護者）
- ・卒業生後援会（卒業生の保護者）
- ・校友会（卒業生）



前回の卒展

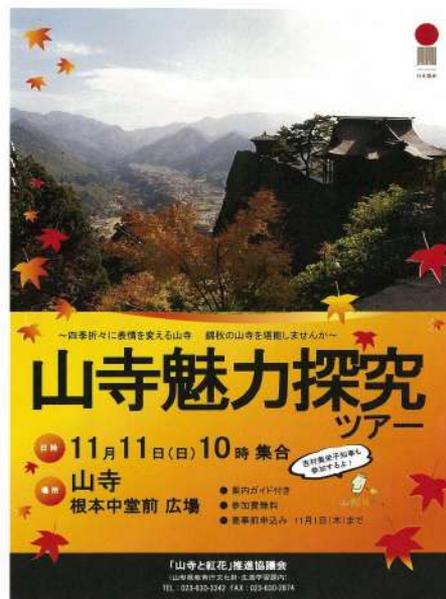


## 2. 大学が保有する教育・研究シーズの活用

### ④ 芸工大教授陣による（仮） 「山形再発見ツアー」の 企画運営

芸工大の教授陣がそれぞれの専門分野（歴史・考古・食文化など）からみた地元山形の魅力を掘り起こし、会員企業の方々が地元の魅力を再発見するツアーを企画する

ツアーに関する移動手段等については、会員企業からの協力を得ながら運営をおこなう



ツアーイメージ

# 3. 大学との交流事業

## ①会報「おむすび」の発行

年2回（上半期1回・下半期1回）発行し、様々な業界で脚光を浴びている後援会企業や卒業生を紹介する

取材・編集については文芸学科のゼミ・演習授業（プロジェクト演習）に組み込み、学生の編集能力向上を図ってもらう



学生の取材イメージ



第13号  
2022年4月発行

第14号  
2022年12月発行予定



## 4. 大学との共同事業

### ①採用活動・インターンシップ等に関するアンケート調査の実施

大学のキャリアセンターと連携し、採用活動やインターンシップの実施等に関するアンケート調査を行う

県内企業が芸工大生の採用に積極的になるよう働きかけ、優秀な人材を確保できるようにする

### ◎インターンシップに関する意向調査

アンケート質問項目
会社名
事業内容
インターンシップ担当者
担当者電話番号
担当者 e-mail アドレス
実施予定時期(日程)
実施形態(対面またはオンライン)
対面で実施する場合の実施予定場所(住所)
オンラインで実施する場合の使用ソフト
インターンシップの実施予定内容
定員
参加条件(対象学年等)
申し込み手続き方法(窓口・締め切り日程等)

・2022年は「インターンシップに関する意向調査」を行い、県内企業約240社のうち88社から返答あり

・54社からインターンシップを実施するとの情報を得ることができ、その情報は広く学生へ提供された

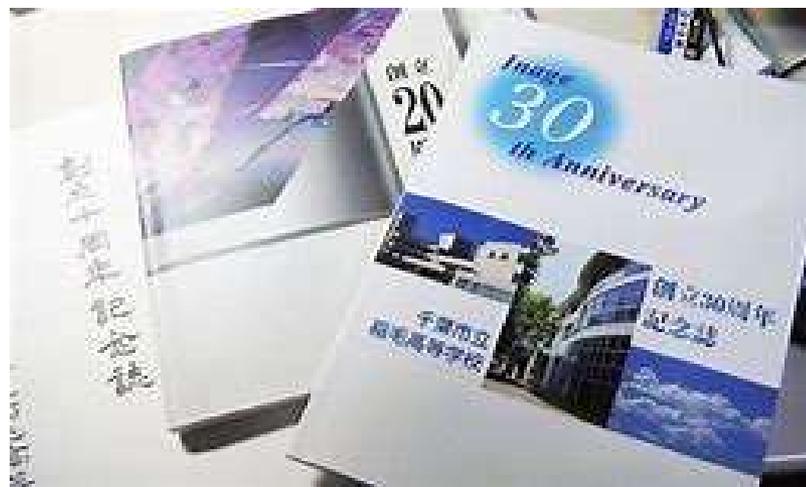
## 4. 大学との共同事業

### ② 「30周年史記念誌」の制作 にかかる費用の助成

大学の2023年度事業で、開学「30周年記念誌」を発行する

学内に残されている過去の資料や情報を収集・整理し、大学誕生の秘話や生い立ち、これまで手掛けた事業の成果、困難を乗り越えた苦勞、熱い思いなどを掘り起こし、培ってきた歴史を広く伝える

冊子サイズは広く手に取って読まれるサイズとし、単行本の形で書店へ流通させることも検討する



30周年記念誌  
イメージ

## 5. その他の事業

### ① 芸術鑑賞会の開催

会員の方々を対象に芸術に親しむ機会を提供する

山形交響楽団と連携し「特別演奏会」の開催や「定期演奏会」への招待等を企画する

なお、今年は12月22日（木）に文翔館「議場ホール」にて特別演奏会「室内楽の夕べ」を開催予定



2022年開催）「室内楽の夕べ」フライヤー  
山形交響楽団 in文翔館

